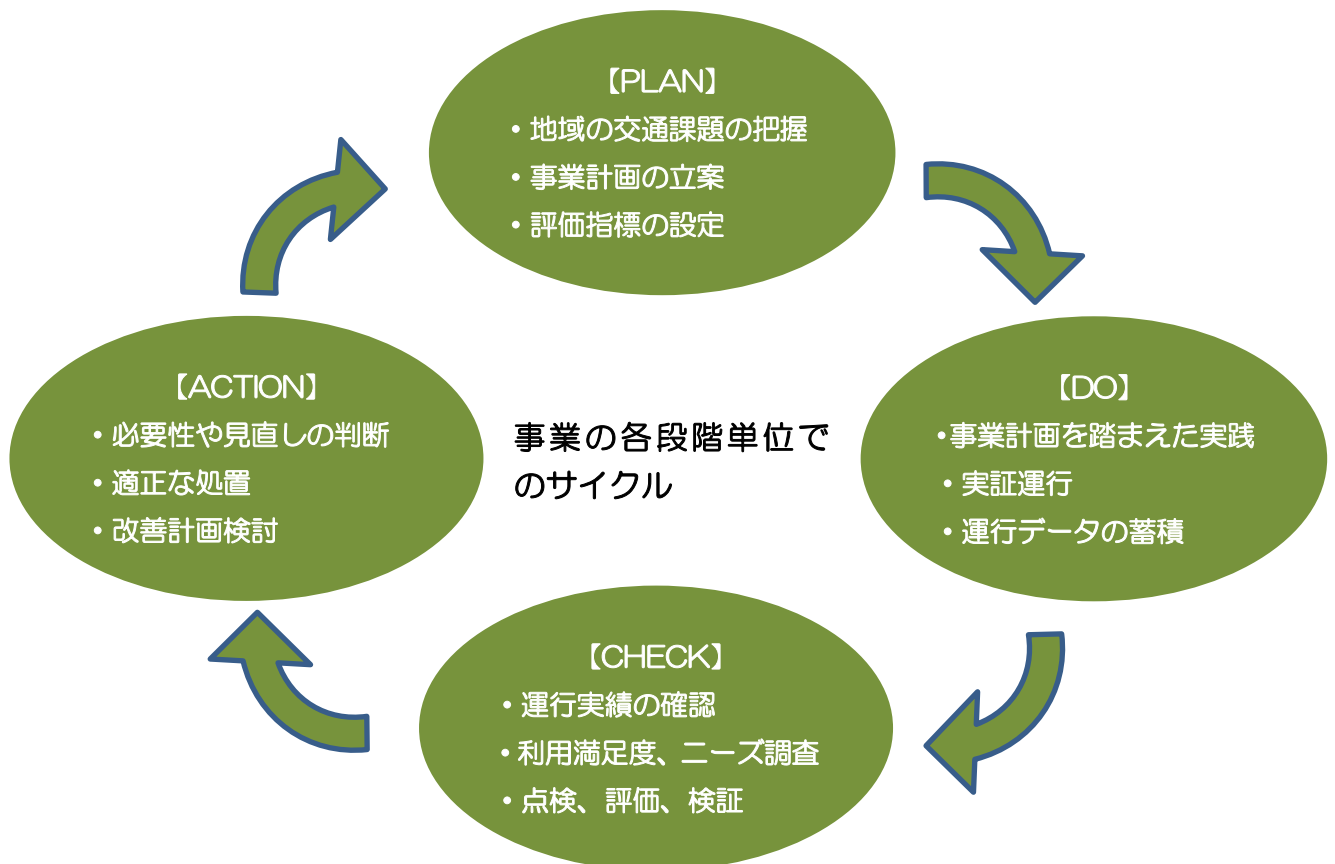


(案)

中井町オンデマンドバス実証実験運行 の評価方法(見直し基準)



中井町地域公共交通会議

オンデマンドバスの持続可能な運行のあり方の検討

1 はじめに

平成25年4月1日より開始した、中井町オンデマンドバスの実証実験運行については、「中井町地域公共交通総合連携計画」において、その実績を評価し連携計画に掲げた目標の達成をめざすため、運行計画内容の見直しを行いながら改善に努めてきました。

実証実験運行開始から3年が経過し、地域ニーズに対応した持続可能な地域公共交通のあり方について検討する時期を迎えています。

昨年3月には、町内バス路線のうち3路線の区間廃止及び大幅減便が行われ、その代替交通手段としてオンデマンドバスが地域の足を担っています。

これらの状況を踏まえ、持続可能な運行体系をめざして今後実施するあり方検討の際の基準を明確化するため、評価方法の検討を行う。

2 評価方法を策定する目的と手段

持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するために、現在、運行されているオンデマンドバスの利用状況をもとに利用実態に即したサービスが提供されているか確認を行い、必要に応じてサービスレベルの見直しあるいは運行の休廃止をおこなう。

目的 評価基準を設け、廃止も含めた更なる見直しを検討し、実証実験後の交通計画を策定する。

手段 客観的な判断ができるよう定量的な基準による評価をおこなうほか、その他の検証項目を用いてその要因を整理する。これをもとにさらなる見直しを検討する。

3 検討対象とする交通モード

評価をおこなう上で対象とする交通モードは、下表のとおりとする。

需要	交通モード	おもな機能・対象者	運送主体	
大↑	定時定路線	路線バス	住宅地と主要施設、鉄道駅等を結ぶ	運送事業者
		コミュニティバス	住宅地と主要施設、鉄道駅等を結ぶ	//
		乗合タクシー	集落と主要施設等を結ぶ	//
	デマンド型交通	一定の区域を予約に応じて運行	//	
小↓	過疎地有償運送	過疎地域の住民及びその親族等	市町村又はNPO等	
	福祉有償運送	公共交通の利用が困難な方	//	

4 検証評価の方法

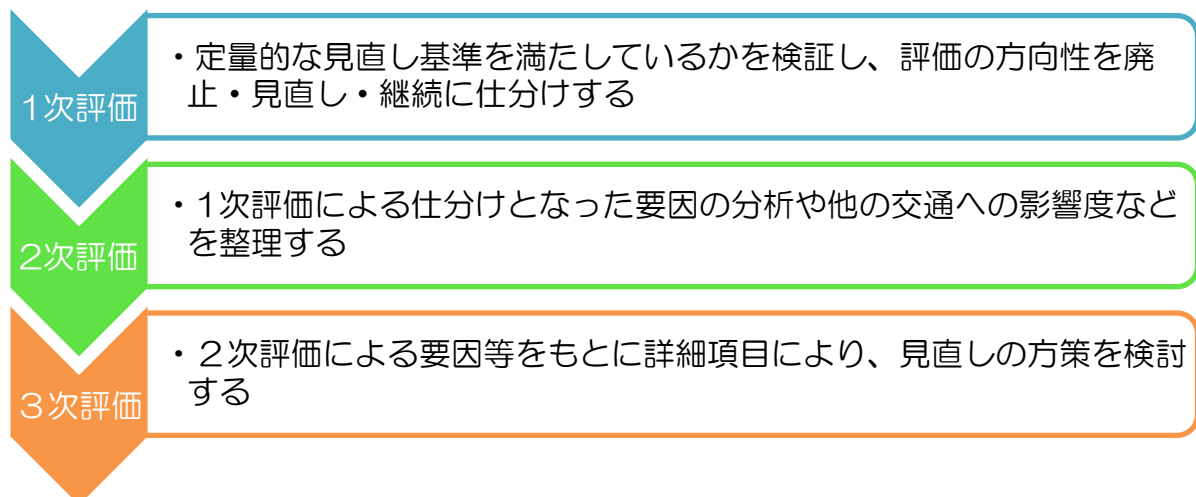
実証実験運行の事業評価は、まず定量的な指標で1次評価の方向性を仕分けし、その方向性に基づいて2次評価の検証項目を用いた見直し方策の検討を行ったうえで3次評価を行う。

1次評価・・・総合連携計画に掲げる3つの目標値を基準として評価の方向性（廃止・見直し・改善・継続）を仕分ける。

2次評価)・・・まちづくりの整合性、住民の期待に対する対応度などの視点から評価を行う。

検証項目	
まちづくりの目的との整合性	まちづくりの目的と現状の地域公共交通を照らし合わせて、まちづくりの目的に貢献しているか、貢献させるためにはどのようなネットワークをつくるべきか検討する
住民の期待に対する対応	住民の地域公共交通に対する期待に、現状の地域公共交通が応えているか検討する。地域ごとの住民の期待とその地域の充実度合を比較し、期待と現状のギャップを整理する
住民の視点での利用しやすさの確認	自動車を運転しない高齢者や児童・生徒など移動制約者の立場で、買い物、拠点的な医療機関への通院、交通結節点への移動が円滑にできるかどうかを確認する
主要な公共施設との関係	住民が日常的に利用する公共施設、商業施設、住民の利用が多い医療機関などに対して、住民の利用が多いにも関わらず交通手段のない施設を整理する
既存の地域公共交通との連携	既存の路線バスのダイヤを確認し、路線バスとの連携が取れているのかを確認し課題を検討する
運行事業者の意向の確認	路線バス事業者との意見交換を通じて、既存の路線バスの維持・撤退の見通しを把握する。将来的に撤退する可能性があることも念頭において事業者の意向を確認し将来の課題を把握する

5 評価の流れ



3次評価

検証項目		評価項目		
			採択理由	方法
地域の状況から見た運行の妥当性	登録状況	男女別登録者・年齢別登録者・地区別登録者	住民視点での利用しやすさの確認	コンビニクルシステム
	利用状況	男女別登録者・年齢別登録者・地区別登録者	住民視点での利用しやすさの確認	コンビニクルシステム
		地区別乗車回数	地区別の利用状況確認のため	コンビニクルシステム
	予約状況	時間帯ごとの予約件数及び乗車人数/月別	時間帯ごとの予約、乗車人数を把握	コンビニクルシステム
		時間帯ごとの予約件数の推移/週別	時間帯ごとの予約件数の推移を把握	コンビニクルシステム
		時間帯ごとの乗車人数の推移/週別	時間帯ごとの乗車人数の推移を把握	コンビニクルシステム
		希望時刻と予約時間の差	希望時間と確定予約時間の差を把握	コンビニクルシステム
		予約成立率/月別	検索された数と予約確定した数の割合	コンビニクルシステム
		予約ごとの平均乗車時間	1回の利用で乗車していた平均時間	コンビニクルシステム
		予約を行うタイミング	どのくらい前に予約を取ったか	コンビニクルシステム
	移動状況	利用者OD	運行ログによる移動状況把握	コンビニクルシステム
		多く利用された予約の組み合わせ/月別	乗車と降車の利用の高い組み合わせ	コンビニクルシステム
		多く利用された乗降場所/月別	乗車と降車でよく使われた回数	コンビニクルシステム
		カテゴリー別利用回数・利用率	乗降場所のカテゴリー別使用状況	コンビニクルシステム
	交通政策への財政投入バランス、妥当性	比較	他自治体比較	導入自治体による比較・検討
路線バス利用者数			路線バスへの波及効果	湘南神奈交バス実績
税の負担割合		公共交通に係る支出額	公共交通への税負担比較	補助総額
		住民1人あたりの財政投入額	住民負担を比較・検討	補助額/住基人口
		利用者1人あたりの財政投入額	費用効率を比較・検討	補助額/利用者数

6 評価のスケジュール（概略）

	H28												H29												H30			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
運行期間	実証実験運行期間																							新交通計画				
検証ターム				I						検証			II						検証			III						
分科会	検証方法の検討・決定			交通の課題整理、交通計画の枠組検討						I期の検証の整理、評価、交通計画案						II期の検証の整理、交通計画の決定												
交通会議			会議				会議				会議				会議				会議									
町	乗調			広報					予算	広報			乗調					広報	PC		予算	新交通計画に係る手続						

注：PCはパブリックコメントの意

【I期】 町の公共交通の課題を整理するとともに、実証実験運行期間以降の交通の枠組みを検討する

- オンデマンドバスにおける交通課題の整理
- 住民・利用者の意向把握、利用普及
- 新交通計画の枠組みの検討

【II期】 I期の検証の整理とともに、新交通計画案を作成する

- フェイズ1～3による検証を行い、I期における評価について検討をおこなう
- 実績の整理・・・実績を取りまとめ、定量的な見直し基準による評価をおこなう
- 評価と交通計画案・・・要因の整理と交通計画案の策定